



KOMEHYO

**第37期
年次報告書**

平成26年4月1日～
平成27年3月31日

ごあいさつ

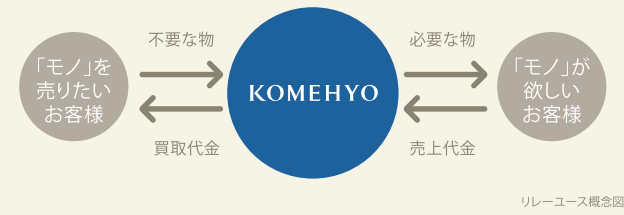


代表取締役社長
石原 卓児

株主の皆様には、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。平素は格別のご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。ここに、当社第37期(平成26年4月1日～平成27年3月31日)の業績概況についてご報告いたします。

私たちは、
“リレーユース”を核として、
お客様に満足と
感動を提供いたします。

リレーユースとは、「モノは人から人へと伝承(リレー)され、有効に活用(ユース)されてこそ、その使命を全うする」というコメ兵独自の考え方です。



業績概況・見通し

第37期の業績概況

当期におけるわが国経済は、政府や日銀による金融緩和を背景に、緩やかな回復基調を続けております。個人消費におきましては、円安に伴い外国人旅行者の増加による消費の下支えがあったものの、平成26年4月に実施された消費税増税や物価上昇による実質所得の低下の影響等により先行き不透明な状況で推移いたしました。このような環境の下、当社グループは、中期戦略に基づき様々な販売促進施策を実施し、既存店の安定成長と、新規出店によるシェア拡大を図りました。消費税増税前の駆け込み需要の反動減に対応するための各種販促施策に伴う販売費増加、及び、新規出店に伴う人員増加等による人件費増加があったものの、円安基調に伴う外国人旅行者への免税販売や活況なりユース業界を背景としたオークション等中古品取扱事業者向けの売上高が好調に推移いたしました。以上の結果、当期の業績につきましては、売上高は43,199百万円(前期比7.4%増)、営業利益は3,129百万円(同4.3%増)で、3期連続の増収増益となりました。

経営方針

ブランド・ファッション事業につきましては、①店舗運営力の強化、②商品管理機能の強化、③ITの強化、④人財育成の強化の4つを重要経営方針と位置づけ、「小型店」の積極的な出店および既存店の成長戦略により、中古品の買取及び販売を強化するとともに、オンラインストアの拡充の他、新規事業や海外事業にも注力し、事業の拡大・成長を目指してまいります。

【ブランド・ファッション事業】

当事業では、「KOMEHYO」3店舗、「USED MARKET」1店舗を新規出店し、当期末の店舗数は、「KOMEHYO」17店舗、「KOMEHYO 買取センター」5店舗、「LINK SMILE」7店舗、「USED MARKET」4店舗となりました。中古品仕入強化への取り組みについては、積極的な買取促進活動が奏功し、また、新規出店もあったことから個人買取が概ね順調に推移し、個人買取仕入高は17,438百万円(前期比9.7%増)となりました。売上高につきましては、高額商品を中心に消費税増税前の駆け込み需要の反動減がみられましたが、免税販売が伸びたことに加え、オンラインストアの強化、中古品取扱事業者向けの販売施策が奏功し、順調に推移いたしました。営業利益につきましては、各種販売施策の強化に伴う販売費の増加、並びに新規出店による人員増加に伴う人件費の増加等があったものの、外国人旅行者向け免税売上高、中古品取扱事業者向け売上高が好調に推移したことから増益となりました。以上の結果、

売上高は38,874百万円(前期比9.6%増)、営業利益は2,979百万円(同7.8%増)となりました。

【タイヤ・ホイール事業】

当事業の当期末の店舗数は、15店舗であります。消費税増税前の駆け込み需要の反動減により、タイヤを中心に自動車用品小売業界全体が弱含みで推移し、売上高が伸び悩んだことから、前期に比べ減収減益となりました。

●セグメント別実績 (単位:百万円)

	売上高			営業利益		
	当期 (平成26年4月1日 平成27年3月31日)	前期 (平成25年4月1日 平成26年3月31日)	前期比	当期 (平成26年4月1日 平成27年3月31日)	前期 (平成25年4月1日 平成26年3月31日)	前期比
ブランド・ファッション	38,874	35,473	109.6%	2,979	2,763	107.8%
タイヤ・ホイール	4,232	4,637	91.3%	124	210	59.4%
その他	134	141	95.5%	25	26	97.7%
連結業績	43,199	40,212	107.4%	3,129	2,999	104.3%

※連結業績には調整額を加味しております。

タイヤ・ホイール事業につきましては、オンラインストアの強化、オリジナルホイールの販売、中古車販売等に加えて、サスペンション等の足回り強化等、新たな施策により、既存店での業績拡大を図ります。当グループは、個々の企業力を高めつつ、グループのシナジー効果を最大限に発揮し、さらなる発展に努めてまいります。株主の皆様におかれま

しては、今後とも力強いご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

●平成28年3月期営業目標 (平成27年4月1日～平成28年3月31日)

	連結	単体
売上高	45,700百万円	40,200百万円
経常利益	3,170百万円	2,790百万円
当期純利益	2,043百万円	1,790百万円

財務諸表等 (連結)

貸借対照表 (単位:百万円)

科目	当期 (平成27年3月31日現在)	前期 (平成26年3月31日現在)	増減率 (前期末比)
流動資産 point1	16,938	15,491	9.3%
固定資産	7,694	7,814	▲1.5%
負債	7,841	8,247	▲4.9%
純資産	16,791	15,059	11.5%
総資産	24,632	23,306	5.7%

損益計算書 (単位:百万円)

科目	当期 (平成26年4月1日から平成27年3月31日まで)	前期 (平成25年4月1日から平成26年3月31日まで)	増減率 (前期比)
売上高 point2	43,199	40,212	7.4%
売上総利益	13,168	12,627	4.3%
販売費及び一般管理費	10,038	9,627	4.3%
営業利益	3,129	2,999	4.3%
経常利益	3,162	2,988	5.8%
当期純利益	2,040	1,834	11.2%

キャッシュ・フロー計算書 (単位:百万円)

科目	当期 (平成26年4月1日から平成27年3月31日まで)	前期 (平成25年4月1日から平成26年3月31日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー point3	1,499	1,199
投資活動によるキャッシュ・フロー point4	▲575	▲829
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲466	366
現金及び現金同等物の期末残高	3,322	2,848

point1

流動資産

販売・買取店舗の増加やブランド品の値上げ等を背景とした商品の増加等により、1,446百万円増加しております。

point2

売上高

訪日外国人の増加を背景としたインバウンド需要の増加、活況なリユース業界を背景としたオークション等BtoB売上高の増加、また店舗出店に伴う売上高増加等によるものであります。

point3

営業活動によるキャッシュ・フロー

税金等調整前当期純利益3,147百万円、減価償却費658百万円及び売上債権の減少額452百万円が、たな卸資産の増加額1,298百万円及び法人税等の支払額1,467百万円を超過したことによるものであります。

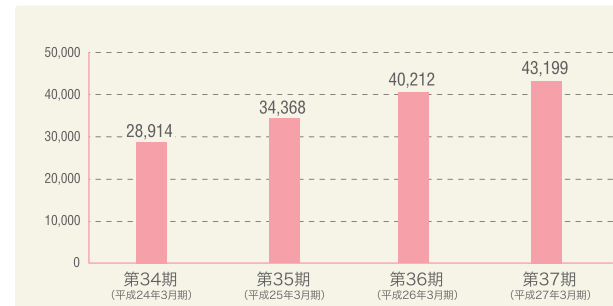
point4

投資活動によるキャッシュ・フロー

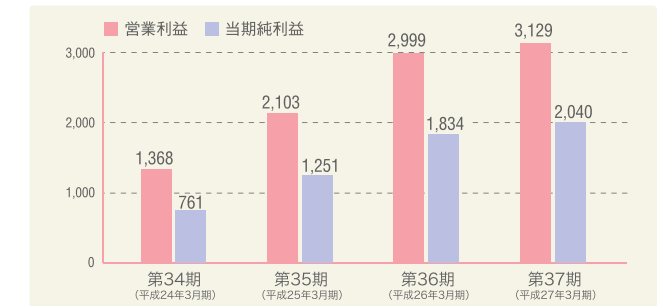
主に、4店舗の新規出店や買取センター大須、新宿店などの店舗改装等によるものであります。

業績の推移 (連結)

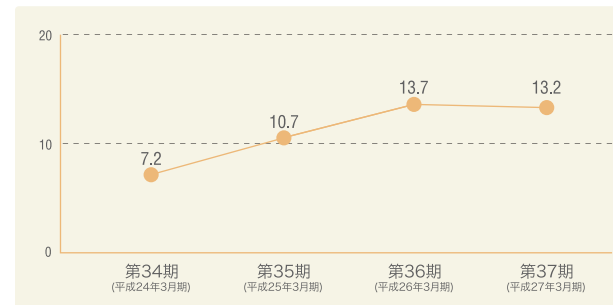
売上高 (単位:百万円)



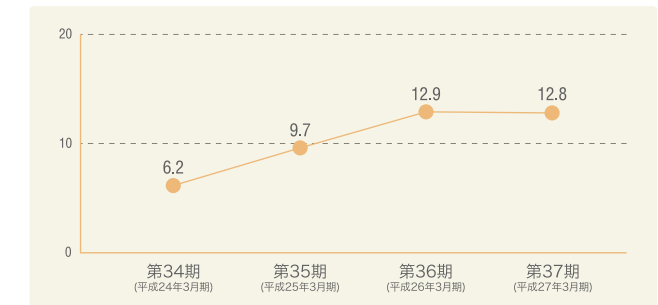
営業利益・当期純利益 (単位:百万円)



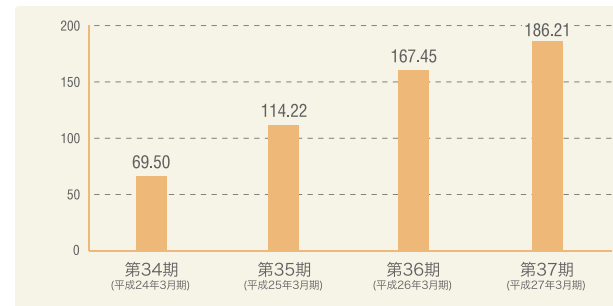
総資産経常利益率 (単位:%)



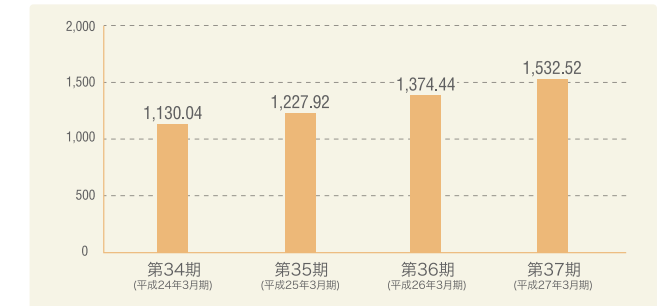
自己資本当期純利益率 (単位:%)



一株当たり当期純利益 (単位:円)



一株当たり純資産 (単位:円)



トピックス

コメ兵グループは、全48店舗に拡大○(平成27年3月31日現在)

平成26年10月に、USED MARKET by KOMEHYO 大須店がオープン!



ブランド・ファッション事業
33店舗

タイヤ・ホイール事業
15店舗

平成27年3月に、KOMEHYO 買取センター有楽町がオープン!



[オンラインショップ]

平成26年4月にヤフオク!へ、同年11月にはAmazonマーケットプレイスへ、KOMEHYO ONLINE STOREがオープンしました。

幅広いお客様に、良質なリユース品のお買物を楽しんでいただけるよう、KOMEHYO ONLINE STOREが有力なオンラインショッピングモールに出店しました。今後も、お客様が買いたい時に買いたい場所で買いたい方法でご購入できるよう「オムニチャネル戦略」を進めてまいります。

1年の軌跡と今後の予定

平成26年

4月 ヤフオク!に KOMEHYO ONLINE STORE 出店

5月 KOMEHYO 渋谷公園通り店 出店

8月 KOMEHYO あべの店(大阪市阿倍野区) 出店

KOMEHYO 買取センター大須 リニューアル

KOMEHYO 名古屋本店 本館7F 増床

Craft 中川店(名古屋市中川区)中古車販売 スタート

9月 KOMEHYO 新宿店7F リニューアル

10月 USED MARKET by KOMEHYO 大須店 出店

Google認定ショップに
KOMEHYO ONLINE STORE 参加

11月 Amazonマーケットプレイスに
KOMEHYO ONLINE STORE 出店

平成27年

3月 KOMEHYO 買取センター有楽町 出店

4月 KOMEHYO 栄セントラルパーク店(名古屋市中区) 出店

5月 KOMEHYO 神戸元町店 出店

6月 監査等委員会設置会社へ移行*

7月 KOMEHYO 買取センター池袋西口 出店予定

* 監査等委員会設置会社に移行することにより、取締役会の監査・監督機能を強化し、コーポレートガバナンスを一層強化することで、より透明性の高い経営の実現を目指してまいります。

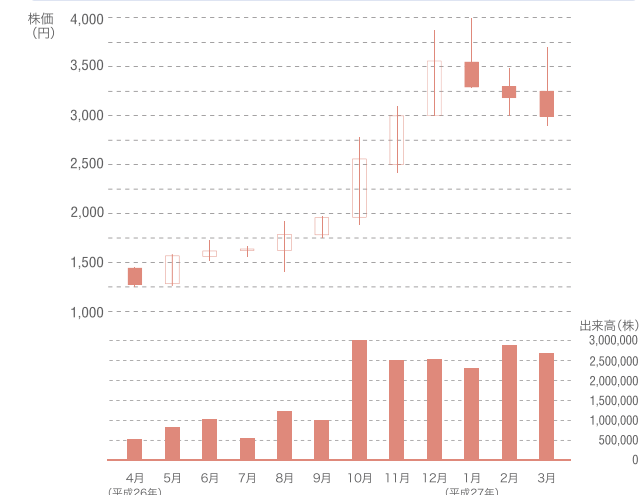
株式の状況

平成27年3月31日現在

発行株式数等

発行可能株式総数	18,000,000株
発行済株式総数	11,257,000株
単元株式数	100株
株主数	5,661名

株価チャート

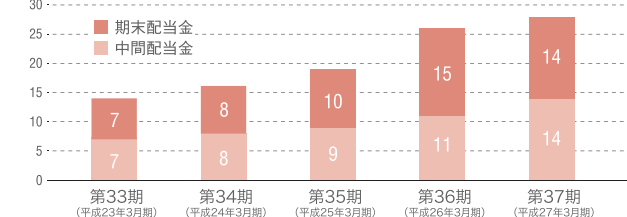


Dividend policy

配当政策

当社は、株主の皆様に対する利益還元を経営戦略上の重要政策として認識しており、将来の事業展開と経営体質強化のために必要な内部留保を確保しつつ、収益やキャッシュ・フローの状況に応じて、株主の皆様に対する適切かつ安定的な配当を実施していくことを基本方針としております。

●一株当たり配当金推移(単位:円)



Shareholder's memo

株主メモ

事業年度 4月1日～翌年3月31日

基準日 3月31日

定時株主総会 6月

配当金受領株主確定日 期末配当金 3月31日
中間配当金 中間配当を行う場合は9月30日

上場証券取引所 東京証券取引所 市場第二部
名古屋証券取引所 市場第二部

株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関

同連絡先 〒137-8081
東京都江東区東砂七丁目10番11号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
TEL 0120-232-711 (通話料無料)

公告方法 当社の公告は電子公告により行います。
<http://www.komehyo.co.jp/>
※ただし、事故その他やむを得ない事由により
電子公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載します。

Company Profile

会社概要

会社名 株式会社 コメ兵

設立 昭和54年5月

資本金 1,803,780千円

従業員数 455名

本社 名古屋市中区大須三丁目25番31号

代表者 代表取締役社長 石原卓児

事業内容 中古品及び新品の宝石・貴金属、時計、バッグ、衣料、きもの、カメラ、楽器等
の仕入・販売及び不動産賃貸

連結子会社 株式会社 クラフト
株式会社 KOMEHYOオークション
株式会社 オートパーツジャパン
KOMEHYO HONG KONG LIMITED

IR情報 ホームページのご案内

当社ホームページの「IR情報」にて、株主の皆様には有益なIR情報や
各種IR資料を掲載しております。是非、ご利用下さい。

<http://www.komehyo.co.jp/ir/>

株式会社 コメ兵

証券コード:2780(東証二部/名証二部)

〒460-0011 名古屋市中区大須三丁目25番31号
TEL 052-242-0088(代) FAX 052-242-3188
URL <http://www.komehyo.co.jp>